

# 知ってほしい、認知症のこと…。



今回は認知症の中核症状の一つ「見当識障害」によって生じてしまう一つの事例を映像を通して体験していただきます。

ある日、友人宅に出かけた1人の老婦人。

いつも通りに友人宅をめざし、いつもの歩道橋を渡りますが、突然、友人宅の道順がわからなくなってしまいます。

次の手順で、老婦人の行動を体験してみましょう。



1. この新聞を机や床に置くか、壁に貼ってください。
2. 右のQRコードから「COCOAR」をダウンロードしてください。  
スマホが iOS の方は右上、Android の方は右下のQRコードです。
3. アプリを起動し、上の「老婦人の写真」(マーカー)をアプリで読み取ってください。
4. AR映像の再生が始まります。



2025年には、65歳以上の高齢者の“5人に1人が認知症”であるという推計があります。誰もがなり得る認知症。認知症を知ること  
で認知症に対する不安や恐怖、偏見を取り除き、社会の中で自分らしく生きることの大切さを啓発することを目的に「下野新聞認知  
症カフェプロジェクト」をスタートしました。新聞の中のあったかカフェ。それが下野新聞認知症カフェです。

企画制作／下野新聞社営業局 映像監修／NPO法人風の詩 永島徹